



オール横浜で育もう！



「はまっ子未来応援団」 この指とまれ！

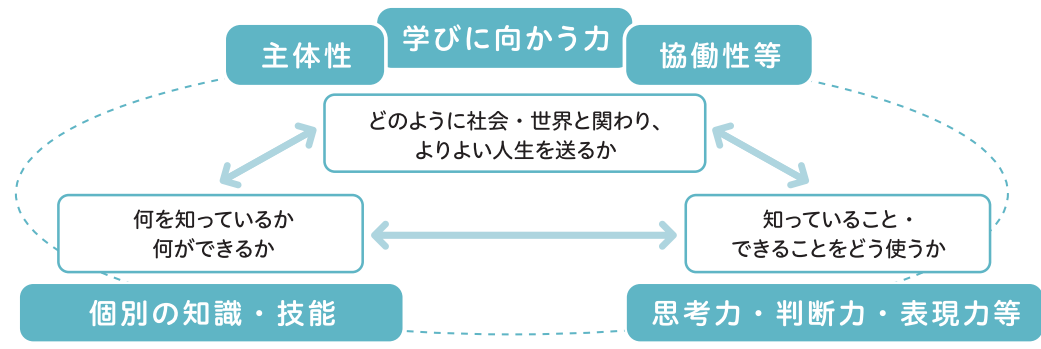


豊かな教育の推進には、学校だけでも保護者だけでなく、地域や社会の皆さんの力が必要です。
横浜市では、はまっ子が生涯学び続け、未来を生きていく力をつけるために学校と社会が一丸となった「**自分づくり教育**」の取組を始めています！
みんなが自分づくり教育を支える「はまっ子未来応援団」です。



これからの社会では…

知識だけでなく、それをどう使うか、どう主体的に社会と関わっていくか、何より「生涯学び続ける姿勢や態度」が必要とされます！

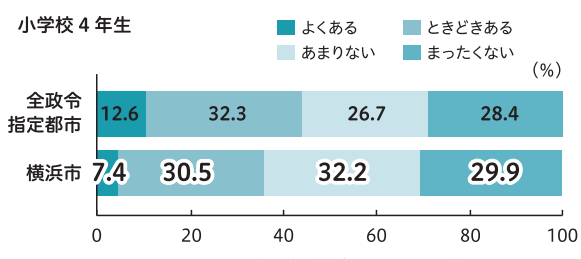


文部科学省平成 27 年度「教育課程企画特別部会 論点整理より」

自分づくり教育は子どもたちの学習意欲を高める傾向にあることが確認されています。

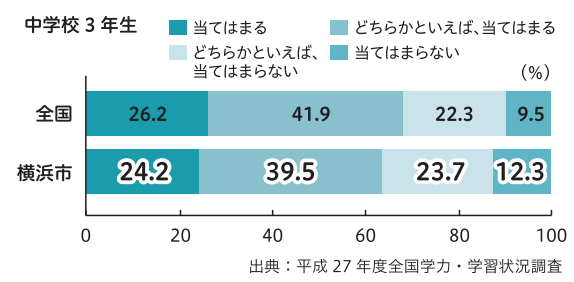
今、はまっ子たちは…

地域の人から学ぶ機会が少ないと回答する割合が高い



地域の人と学ぶ『横浜の時間』が好きな子は、コミュニケーションも好きなことがわかってきています。

自分にはよいところがあると思う割合が低い



自分によいところがあると思っていると、物事に一生懸命取り組む傾向があることがわかってきています。

横浜市の

自分づくり教育

～様々な機会を経て育つ「自分づくり」の芽～

横浜の自分づくり教育では、働くことの意義や尊さを理解し、将来に夢や希望、目標を持てるはまっ子を育みます



幼児期

- お手伝い
- 自発的な遊び
- 地域の行事参加



小学校

- 係活動
- まち探検
- 『横浜の時間』
(総合的な学習の時間)



中学校

- 生徒会
- 職場体験活動
- ボランティア体験



高等学校～

- インターンシップ
- より深い課題解決型学習



自分と人や物事との関係性を理解する中で、自分らしさを発揮しながらお互いのよさを認め合い、将来の夢や希望、目標をもとうとする姿

自己肯定感

見つけ続ける

仕事に言い訳は通用しないのだということを学んだ。**社会に甘えは許されない。**でも、**挑戦し続ける**ことが大切だとも教えてもらった。

学習したことが身の回りのことに使われていることがわかってびっくり！**学習って役に立つんだ**と思いました。

つなげ続ける

コミュニケーション

社会の中で生きていく意識をもち、多様な個性や環境を理解して、自ら適切かつ協動的に行動する姿



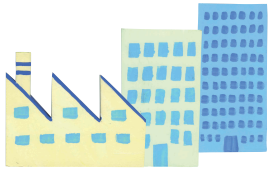
求め続ける

地域貢献 社会参画

地域の課題に対して、自分で考え、選択し、行動し続け、社会で役立つ喜びを感じる姿



まちの人たちと一緒に活動をしたので、**このまちがもっと好き**になりました。通りがかりの人に「ありがとう。」とってもらえて、ますますまちが好きになりました。他の活動も**まちの人と一緒に**できたらいいなあと思っています。



企業や商店では



働く大人の背中から、はまっ子は
どのような未来が拓けるのかを学び、将来の目標を描き始めます

「はまっ子未来応援団」として自分づくり教育に積極的に関わることが企業力アップにもつながります

地域や社会から認知され、ネットワークが広がります！

従業員のスキルアップや誇りにつながります！

会社の業務改善や安全性向上のきっかけになります！

会社に活気が生まれ、学び続ける風土が醸成できます！

出前授業・校外学習

働く大人やまちの先生と共にリアルな課題を解決



農家として、子どもたちと一緒に数か月にわたり
キャベツを育て、販売。農業使用の是非や野菜
の規格等、現実的な課題も伝えました。



資源回収や再資源化の仕組みを若手職員が説明。
後日、取材内容をまとめるときに出了子どもたち
の疑問にも、電話やメールで答えました。



職場体験活動

横浜市内の全中学校で実施される「自分づくり教育」の核となる取組

[株式会社スリーハイでの東山田中学校生徒の職場体験活動では…]

体験の流れ

先生との
事前打ち合



朝礼で自己紹介

1 日目

特別な仕事ではなく、通常の流れの一部を
任せます。

2 日目

私語やたるみが出てくる時
期。社会人のルールをしっ
かり指導。

3 日目

社員の前で体験を振り
返り発表。



振り返り
ミーティング

ねらい通りの実習となっ
たか等、社内で共有。

職場体験を通してどんな力を身に付けてほしいと
考えているか、ぜひ学校に聞いてください。

〈例えば、同じ「在庫整理」でも活動の詳細が変わってきます〉

「コミュニケーション力」 の育成をねらっている場合

作業に入る前のミーティングから
参加することで、コミュニケーション
をとることが作業の効率にも影
響することを実感します。

「粘り強くやり遂げる力」 の育成をねらっている場合

在庫整理に地道に取り組み、自分
の力で倉庫が片付いていく様子
から、あきらめずにやり遂げることが
大事だと実感します。



「仕事って楽しい」と子どもたちが
わかるよう、配慮しています。14
歳の子に業務や専門用語を説明
するのは、相手への配慮の力が試
されます。社員育成の機会にも
なっていると感じていますし、会社
の活性化にもなっていますね。地
域での認知度が毎年上がっている
という実感もあります。

(株)スリーハイ 男澤社長の声